

科目	単位	時間	履修学年	講師名
基礎看護技術Ⅳ（清潔）	1	30	1	
ねらい	生理的ニードに対する日常生活援助技術である清潔、衣生活の援助技術を習得する			
回数／講師	授業内容			授業方法
1回目	清潔援助の基礎知識 清潔援助の意義、人間の皮膚・粘膜の生理的メカニズム 入浴の生理作用、身体に及ぼす影響			講義
2回目	全身清拭の援助の実際 【全身清拭】 身体を清潔にする方法とその根拠について考える 全身清拭の意義・目的、方法と留意点			グループワーク 講義
3回目	衣生活の援助の基礎知識 衣生活の意義・目的、方法と留意点			講義
4回目	衣生活の援助の実際 【寝衣交換】 学生同士で“寝衣交換”の援助を実践し、方法・留意点を学ぶ			演習 グループワーク
5～6回目	全身清拭と衣生活の援助の実際 【全身清拭・寝衣交換】 学生同士で“全身清拭”と“寝衣交換”の一連を通じた援助を実践し、 方法・留意点を学ぶ			演習 グループワーク
7回目	洗髪・足浴・手浴の援助 洗髪・足浴・手浴の意義・目的、方法と留意点			講義
8～9回目	洗髪の援助の実際 【洗髪】 学生同士で“洗髪（ケリーパッド）”の援助を実践			演習 グループワーク
10回目	足浴の援助の実際 【足浴】 学生同士で“足浴”の援助を実践し、方法・留意点を学ぶ			演習 グループワーク
11回目	陰部洗浄の援助 陰部洗浄の意義・目的、方法と留意点			講義 グループワーク
12～13回目	陰部洗浄の援助の実際 【陰部洗浄】 モデルを活用し“陰部洗浄”の援助を実践し、方法・留意点を学ぶ			演習 グループワーク
14回目	整容・口腔ケアの援助の実際 【整容・口腔ケア】 ケアの意義・目的、方法と留意点 口腔の観察とアセスメント 正しいブラッシングの実際			講義 演習
14.5回目 (45分)	学生同士で“整容”“口腔ケア”の援助を実践し、方法・留意点を学ぶ			演習 グループワーク
15回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ（医学書院）			
参考文献	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第2版（医学書院）			
評価方法	筆記試験(1時間【45分間】): 100点)			
備考	知識に基づいて演習を行うことで深めていく授業です。知識と技術、どちらができなくても単位を修得できません。特に技術は練習をする以外に上達する近道はありません。研修時間を有効に利用し、日々の練習・学習を積み重ねてください。			